

「個」への対応という理念

2024年を振り返りますと、心に浮かぶのはやはり、盟友であった佐藤イサク氏のことです。まだ20代の若者だった彼が、私たちの塾(当時は「鈴鹿英数学院」)に視察に来たことをつい先日のごとくのように思い出し、懐かしくも悲しい気持ちを抱いてきます。しかし、彼が教育に寄せた真摯な情熱、そして民間教育の地位向上のために投じた努力を思うと、私たちが停滞していることは許されません。eisuは2025年で創立60年を迎えます。温故知新と言いますが、この場をお借りしてeisu60年の歴史を簡単に振り返ることで、未来に向けて挑戦と革新を継続する意志を改めて固めたく思います。

創立60年と言いましたが、1965年に塾「鈴鹿英数学院」を創立した当初は、ただ教育への情熱だけが武器の、大海の一滴でも言うべき小さな存在でした。いろいろな仕事に触れましたが、選んだのは教育、しかもフリーハンドで仕事ができる塾経営でした。知識だけでなく、相手に喜んでもらいたいという素直な気持ちをぶつけることで、子供たちの心に「財V」を築き、その人生の可能性

を広げていく。こんな素晴らしい仕事は他にない! そう信じる激しい情熱が全ての始まりでした。三重県鈴鹿市三日市に学院本部を設置し、本格的な業務拡張に乗り出したのは1975年のことでした。

民間教育にとって大切なのは、子供たち一人ひとりの「個」にフォーカスする姿勢であると私は直感していました。公教育は子供たちを「集団」として扱っており、画

一化・平均化した指導に傾きがちな時勢でもありました。国民に一定の教育水準を確保するという公教育の使命上、それはやむを得ないことです。しかし、子供たちにはそれぞれ個性があります。自分の個性にあった教育に出会ったとき、子供たちは未来に広がる自分の人生の可能性を垣間見て、目を輝かせ学習意欲を燃やします。主体的に学習する意欲が高まれば、子供たちは自力で結果を出していきます。子供たち一人ひとりの「個」にフォーカスした指導——「個」への対応——こそ、民間教育の立脚地です。その後のeisuは、この基本理念をいかに実現するかと試行錯誤する毎日でした。



eisu group 三重県津市

山本千秋

最高経営責任者(CEO)

eisu group
eisu 小中部
eisu 高校部 東進衛星予備校
個別指導会 T-MEG / E-MEG
EイスワClub

人生の可能性を広げる独自の教育を実践
創立60年を迎える挑戦と革新の歴史

「環境」それ自体を付加価値に

「個」への対応に向けてまず私が挑戦したことは、最高の学びの「環境」を提供することです。子供たちを意欲喚起する主役はあくまで人ですが、環境はその効果を何倍にもします。私は子供たちに「この塾に通いたい!ここで勉強したい!」と思わせる環境をつくるため、校舎の新築展開を戦略的に行いました。プレハブや民家、ビルの一隅等は使わず、主要路線駅前の交通至便な場所に、ネオンが明るく輝く、清潔感と品のある校舎を建設する。そして講師が情熱的に教え、子供たちが熱心に勉強に励む姿を、大きなガラス窓を通じて積極的に外にも見せていく。授業だけでなく、自習室やチャタリング(休憩スペース)を設け、子供たちが好んで校舎に滞在するようにする。そんな工夫によって、内外の子供たちの意欲を刺激していくのです。これは、当時の常識からすれば「塾」のイメージを一新させる革新だったと思います。

また同じ年には、今までの小中部に加え高校部を新規開設し、かねてから描いていた「小・中・高一貫指導体制」の実現に向けて一歩を踏み出しました。2006年には「東進衛星予備校」を全面的に導入し、今や高校部は小中部と並び立つeisuの柱となっています。

求してきました。例えば2007年からは知的能力開発の「パズル道場」、2009年からはオンライン家庭学習「eドリル」、2018年からはWEBサービスと併用できる英単語教本「単語塾」等、単独でも価値があり、なおかつハイブリッド指導システム全体の品質も高められるコンテンツを開発・提供してきました。eisuは教室だけでなく、家庭も含めた子供たちの生活環境全体を学習へと最適化する試みを、これからも継続していきます。

going concen

1984年に三重県津市の津駅西口前に7階建ての本部ビルを建設し、本部機能を移転した際は大きな反響を呼びました。入新させる革新だったと思います。

民間教育は、資本・技能含めて比較的参入しやすい反面、淘汰も激しい世界です。そうした環境の中、eisuがgoing concen(継続発展)をしてこられたのは、「個」への対応という理念をeisuに属する一人ひとりがそれぞれの仕方でも肉化し、失敗を恐れず挑戦と革新を繰り返し、eisu独自の

見きわめ難くなってきましたが、平穩無事な世よりも、むしろ今の方が挑み甲斐もあるというものです。子供たちの人生の可能性を広げることは、民間教育界に属する者全員の使命です。私たちは心を一つにし、これからも挑戦と革新を継続してまいります。

学びの「ハイブリッド」を目指す

さて塾も学校も、教育サービスと言えば、教室内での集団一斉指導が主です。しかし知識のティーチングにとどまらず、子供一人ひとりに対するコーチングや、一人

ひとりの学習状況に合わせたセルフ・トレーニングを完備して初めて、「個」への対応に成功し、高い教育効果が生まれます。21世紀に入ってからeisuの取り

さまざまな困難に打ち勝つための「GRIT(やり抜く力)」が身につく、eisuオリジナルノート!

eドリル
国・算(数)・理・社・英(英検準拠) 伸びるオンライン家庭学習
「義務教育9年の全学習単元」をマスターする「個」に対応した、未来に生きるオンライン家庭学習コンテンツ!
●対象: 小学1年生~中学3年生、高校生、大学生、社会人 (知は力) 19時00分~10時00分(土・日・休)

単語塾
【英検(準1級)】【入試(中・大)】レベル
【英語の聴き力が伸びる】6,700単語 (1日6,700単語)
日本人の英語語彙力水準を上げる 未来に生きる優れた英単語教本! WEBとの併用で、学習効果アップ!
●対象: 小学1年生~高校3年生、大学生、社会人

単語塾 WEB NEW!
楽しく学び、必ず身につく英単語 伸びるオンライン家庭学習
アナログ×デジタルの力で、未来に生きる英単語力を培う オンライン家庭学習コンテンツ!
●対象: 小学1年生~高校3年生、大学生、社会人

GRIT NOTE
私の1年間の家庭学習記録ノート
さまざまな困難に打ち勝つための「GRIT(やり抜く力)」が身につく、eisuオリジナルノート!
●対象: 小学1年生~中学3年生

Guts(胆力) Resilience(耐えぬ力) Initiative(果敢力) Tenacity(粘り強さ)を育成